

家 庭

家庭の目標等について
<p>【教科の目標】 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p>
<p>【学年・領域等の目標など】 〔第5学年及び第6学年〕 (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。 (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。 (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p>

【参考】

- 家庭科、技術・家庭科については、その課題を踏まえ、実践的・体験的な学習活動を通して、家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業等についての基礎的な理解と技能を養うとともに、それらを活用して課題を解決するために工夫し創造できる能力と実践的な態度の育成を一層重視する観点から、その内容の改善を図る。
その際、他教科等との連携を図り、社会において子どもたちが自立的に生きる基礎を培うことを特に重視する。
(ア) 家庭科については、自己と家庭、家庭と社会とのつながりを重視し、生涯の見通しをもって、よりよい生活を送るための能力と実践的な態度を育成する視点から、子どもたちの発達の段階を踏まえ、学校段階に応じた体系的な目標や内容の改善を図る。
- 社会の変化に対応し、次のような改善を図る。
(ア) 少子高齢化や家庭の機能が十分に果たされていないといった状況に対応し、家族と家庭に関する教育と子育て理解のための体験や高齢者との交流を重視する。
心身ともに健康で安全な食生活のための食育の推進を図るため、食事の役割や栄養・調理に関する内容を一層充実するとともに、社会において主体的に生きる消費者をはぐくむ視点から、消費の在り方及び資源や環境に配慮したライフスタイルの確立を目指す指導を充実する。
- 体験から、知識と技術などを獲得し、基本的な概念などの理解を深め、実際に活用する能力と態度を育成するために、実践的・体験的な学習活動をより一層重視する。また、知識と技術などを活用して、学習や実際の生活において課題を発見し解決できる能力を育成するために、自ら課題を見だし解決を図る問題解決的な学習をより一層充実する。
- 家庭・地域社会との連携という視点を踏まえつつ、学校における学習と家庭や社会における実践との結び付きに留意して内容の改善を図る。

○ 標準授業時数

第5学年－60単位時間

第6学年－55単位時間

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第5,6学年	家庭531	新編 新しい家庭5・6
取扱内容 各学年の目標、学習指導要領の総則及び各教科、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A家庭生活と家族」については、第5学年において団らんのための仕事をしたり、家庭生活を工夫をしたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、家族の一員として家庭や地域でできることを考えたりする活動を通して、家庭生活を支えているものを理解し、家庭生活の大切さに気付く。 ・「B日常の食事と調理の基礎」については、第5学年において「カラフルコンビネーションサラダ」やご飯とみそ汁をつくる活動や、第6学年において栄養のバランスのよい朝食のおかずをつくったり、家族が喜ぶ一食分の献立を考えたりする活動を通して、食生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 ・「C快適な衣服と住まい」については、第5学年において「小物入れ」や「ウォールポケット」を製作したり、掃除をしたりする活動や、第6学年において洗濯などの衣服の手入れをしたり、冬を快適に過ごす工夫を考えたりする活動を通して、衣生活や住生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 ・「D身近な消費生活と環境」については、第5学年においてノートの買い方を考える活動や、第5、6学年において、衣食住の生活と関連させた環境を大切にす工夫を考える活動を通して、物の選び方や金銭の使い方、環境に配慮した生活の仕方についての関心を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「カラフルコンビネーションサラダ」「ウォールポケット」など、調理や製作の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる実習題材や、「家族が喜ぶ食事をつくろう」「トートバッグをつくろう」など、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動例が取り上げられている。</p>			
内容の構成・分量等 構成・排列	<p>○ 内容の構成・排列については、学習内容を14の大題材(42の小題材)で構成するとともに、「だんらんのための仕事」や「手ぬいで生活を楽しくする小物の製作」などの基礎的な学習をした後に、「家族が喜ぶ食事づくり」や「生活に役立つ布製品の製作」など基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習を扱うなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「A家庭生活と家族」は19ページ、「B日常の食事と調理の基礎」は42ページ、「C快適な衣服と住まい」は59ページ、「D身近な消費生活と環境」は11ページであり、総ページ数は130ページで、前回より約15パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「環境」「日々の備え」「日本の伝統」などのマークや「資料」「プロに聞く」などのコラム欄によって、興味・関心をもたせたり、ワークシートを掲載し、学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「いつも確かめよう」として写真や挿絵でまとめて掲載し、必要に応じて調べさせたり、「自由研究」を示し、長期休業中における家庭と連携を図った活動を促したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 字体や配色を工夫するとともに、2年間の学習の見通しや振り返りに活用するため巻頭に「家庭科を学ぼう」「成長の記録」、巻末に「これからの私たち」を掲載したり、実習、実験における安全や衛生に留意しながら学習を進めるため「安全」マークを示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第5,6学年	家庭532	小学校 わたしたちの家庭科5・6
取扱内容 各学年の目標、学習指導要領の総則及び各教科、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A家庭生活と家族」については、第5学年において家族に協力して仕事をしたり、団らんを工夫をしたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、家庭や地域で共に生きるために自分ができることを考えたりする活動を通して、家庭生活を支えているものを理解し、家庭生活の大切さに気付く。 ・「B日常の食事と調理の基礎」については、第5学年において「カラフルゆで野菜サラダ」やご飯とみそ汁をつくる活動や、第6学年において朝食に合うおかずをつくったり、栄養のバランスのよい一食分の献立を考えたりする活動を通して、食生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 ・「C快適な衣服と住まい」については、第5学年において「カード入れ」や「ランチョンマット」を製作したり、冬を快適に過ごす工夫を考えたりする活動や、第6学年において掃除をしたり、洗濯などの衣服の手入れをしたりする活動を通して、衣生活や住生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 ・「D身近な消費生活と環境」については、第5学年において「買い物名人〇か条」を考える活動や、第5、6学年において、衣食住の生活と関連させた環境を大切に工夫を考える活動を通して、物の選び方や金銭の使い方、環境に配慮した生活の仕方についての関心を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「カラフルゆで野菜サラダ」や「ランチョンマット」など、調理や製作の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる実習題材や、「身近な食品でおかずをつくろう」「マイバッグをつくろう」など、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動例が取り上げられている。</p>			
内容の構成・分量等 内容の構成・排列、	<p>○ 内容の構成・排列については、学習内容を17の大題材(42の小題材)で構成するとともに、「やってみよう家庭の仕事」や「手ぬいで楽しい小物の製作」などの基礎的な学習をした後に、「栄養のバランスのよい食事づくり」や「生活を楽しむ布製品の製作」など基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習を扱うなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「A家庭生活と家族」は21ページ、「B日常の食事と調理の基礎」は38ページ、「C快適な衣服と住まい」は52ページ、「D身近な消費生活と環境」は4ページであり、総ページ数は114ページで、前回より約5パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「環境」「消費」「防災」などのマークや「参考」「発展」などのコラム欄によって、興味・関心をもたせたり、学習のめあてや課題、振り返りを枠囲みで掲載し、学習の見通しをもたせたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 実習している児童の目線で写した写真や挿絵等を掲載し、必要に応じて調べさせたり、「チャレンジコーナー」を示し、長期休業中における家庭と連携を図った活動を促したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ レイアウトや配色を工夫するとともに、2年間の学習の見通しや振り返りに活用するため巻頭に「家庭科の学習」、巻末に「成長した私たち」を掲載したり、実習、実験における安全や衛生に留意しながら学習を進めるため「安全」マークを示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				

様式 3

◎ 調査項目

- ① 4つの内容「A家庭生活と家族」「B日常の食事と調理の基礎」「C快適な衣服と住まい」「D身近な消費生活と環境」の大題材・小題材の数及びページ数
- ② 製作や調理等の実習・実験、他教科等と関連する内容に関する箇所数
- ③ 興味・関心を高めることができるような資料や、北海道の素材を扱っている資料、環境、消費、防災、日本の伝統などの資料の箇所数
- ④ 実生活と関連を図った問題解決的な学習に効果的に取り組むため、自ら進んで考えたり、調べたりすることができるような資料を掲載している箇所数
- ⑤ 実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数

◎ 調査項目にした理由

- ① 児童が4つの内容「A家庭生活と家族」「B日常の食事と調理の基礎」「C快適な衣服と住まい」「D身近な消費生活と環境」をバランスよく学習することが求められていることから、全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 内容の系統性を大切にしながら、実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てることが求められていることから、製作や調理等の実習・実験、他教科等との関連について把握する必要があるため。
- ③ 学習意欲を高め、進んで学習することが求められていることから、興味・関心をもって、意欲的に学習に取り組むことができるような工夫について把握する必要があるため。
- ④ 実生活と関連を図った問題解決的な学習に積極的に取り組む工夫が求められていることから、実生活との連携や自ら課題解決に取り組み、主体的に学習することができるような工夫について把握する必要があるため。
- ⑤ 実習・実験に当たっては、事故防止の指導を徹底し、安全と衛生に十分留意することが求められていることから、安全・衛生への配慮について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東書	開隆堂
①	4つの内容の大題材・小題材の数及びページ数	家庭生活と家族	ページ数	19	21
			大題材数	3	4
			小題材数	9	7
		日常の食事と調理の基礎	ページ数	42	38
			大題材数	4	4
			小題材数	12	12
		快適な衣服と住まい	ページ数	59	52
			大題材数	6	7
			小題材数	18	17
		身近な消費生活と環境	ページ数	11	4
			大題材数	1	2
			小題材数	3	6
		合計	総ページ数	130	114
大題材数	14		17		
小題材数	42		42		
前回の総ページ数		113	109		
増減		15%	5%		
②	製作や調理等の実習・実験、他教科等に関連する内容に関する箇所数	実習・実験等	35	41	
		他教科等との関連 (※1)	21	25	
③	興味・関心を高めることができるような資料や北海道の素材を扱っている資料、環境、消費、防災、日本の伝統などの資料の箇所数	資料 (※2)	26	39	
		北海道の素材	4	3	
		環境 (※3)	16	17	
		消費	7	7	
		防災 (※4)	4	7	
		日本の伝統	14	14	
④	実生活と関連を図った問題解決的な学習に効果的に取り組むため、自ら進んで考えたり、調べたりすることができるような資料を掲載している箇所数	自ら調べる資料	38	36	
		実生活との連携 (※5)	19	31	
⑤	実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数 (※6)		24	21	

(※1) 調査項目②の「他教科等との関連」については、東書、開隆堂、共に「関連」マークを対象とする。

(※2) 調査項目③の「資料」については、東書「資料」「プロに聞く」、開隆堂「参考」「発展」を対象とする。

(※3) 調査項目③の「環境」については、東書、開隆堂、共に「環境」マークを対象とする。

(※4) 調査項目③の「防災」については、東書「日々の備え」マーク、開隆堂「防災」マークを対象とする。

(※5) 調査項目④の「実生活との連携」については、東書「Do! 活動 (学んだことを活用しよう)」 「自由研究」、開隆堂「チャレンジコーナー」「生かそう」を対象とする。

(※6) 調査項目⑤については、東書、開隆堂、共に「安全」マークを対象とする。

別記

様式4の調査項目②[実習・実験等]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家庭生活と家族	○家庭科室の使い方と調理用具 ○お茶をいれる	8 10		
	日常の食事と調理の基礎	○カラフルコンビネーションサラダ ○ゆで卵 ○ゆでいも ○ほうれんそうのおひたし ○ご飯 ○みそ汁	14 16 16 16 30 32	○きゅうすで日本茶をいれる 場合 ○卵のゆで方 ○青菜のゆで方 ○カラフルゆで野菜サラダ ○こまつなのごまあえ ○ねぎのすみそあえ ○ミニトマト入りゆで野菜 サラダ ○ご飯のたき方 ○みそしるのつくり方	9 12 13 16 16 17 17 46 48
	快適な衣服と住まい	○ワッペン ○小物入れ ○道具箱の整理・整とん ○よごれ調べ（活動3） ○そうじ ○きんちやくぶくろ ○なべしき ○ウォールポケット ○ランチョンマット ○エプロン	21 22 46 48 48 57 57 58 60 60	○ワッペン ○ネームプレートのつくり方 ○フェルトでつくるカード入 れ ○ペットボトルキャップの針 さし ○布でつくるティッシュペー パー入れ ○整理・整とんの手順 ○ランチョンマット ○クッション ○マルチカバー ○まくらカバー ○明るさあたたかさ調べ（調 べよう）	19 20 22 23 24 26 38 40 40 40 60
	身近な消費生活と環境	○ノートの買い方	40	○買い物の手順	54
6	家庭生活と家族	○マスク ○かいろ入れ ○サンドイッチ	110 110 111	○メッセージカード ○ぞうきん ○サンドイッチと飲み物	106 106 107
	日常の食事と調理の基礎	○いろいろいため ○スクランブルエッグ ○こまつなの油いため ○野菜のベーコン巻き ○青菜とにんじんとちくわの ごま風味 ○ジャーマンポテト	68 69 69 98 98 98	○スクランブルエッグ ○三色野菜いため ○粉ふきいも ○ジャーマンポテト ○目玉焼き ○ツナポテトサラダ ○野菜の煮物	72 72 100 100 100 101 102
	快適な衣服と住まい	○すずしき調べ ○布の性質を比べる方法 ○手洗い ○トートバッグ ○きんちやく ○クッションカバー ○暖かさ・明るさ調べ	74 76 78 86 88 88 104	○学校のごれウォッチング ○そうじの手順と実行 ○すずしく住まうくふうを考 えよう ○布による空気の通しやすさ を比べてみよう（調べよう） ○気持ちよく着るための衣服 の手入れの手順 ○洗たくの手順 ○マイバッグ ○ナップザック ○エプロン ○カフェエプロン	75 76 80 82 82 84 90 92 92 94
	身近な消費生活と環境				

別記

様式4の調査項目③[北海道の素材]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家庭生活と家族				
	日常の食事と調理の基礎	○北海道みそ ○石狩なべ	34 34	○こんぶ ○石狩なべ	48 51
	快適な衣服と住まい			○窓や出入り口を二重にするくふう	57
	身近な消費生活と環境				
6	家庭生活と家族				
	日常の食事と調理の基礎				
	快適な衣服と住まい	○寒冷地 ○私たちの住む地域の気候は(札幌市)	102 125		
	身近な消費生活と環境				

様式4の調査項目③[消費]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家庭生活と家族				
	日常の食事と調理の基礎				
	快適な衣服と住まい	○物を生かしてゴミを減らそう	50	○持ち物の整理 ○物を生かして使うくふう	26 28
	身近な消費生活と環境	○必要性を考えよう ○計画的に買い物をしよう ○いろいろな商品の情報とマークの例	38 39 41	○買う前に考えよう ○商品についている表示やマーク	53 54
6	家庭生活と家族				
	日常の食事と調理の基礎	○食品の日付表示 ○食品のいろいろな表示	96 96	○卵の賞味期限	70
	快適な衣服と住まい	○取りあつかい絵表示	79	○衣服の手入れに必要な取りあつかい絵表示の例と意味	83
	身近な消費生活と環境			○くらしの中のマークや表示	111

様式4の調査項目③[日本の伝統]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家庭生活と家族	○道具や器、茶葉の産地、 いろいろなお茶	11	○地域に伝わる伝統的なおやつ ○お茶の話	63 63
	日常の食事と調理の基礎	○受けつぎたい日本の食文化 ○ご飯 ○みそ汁 ○漆器 ○米を使った料理 ○いろいろなだし ○ふるさとのみそと料理	29 30 32 33 34 34 34	○移り変わるとご飯のたき方 ○みその種類 ○ご飯のたき方 ○みそしるのつくり方 ○だしの材料とおもな産地 ○だしのとり方 ○みそしるの実に使われる特産物の例 ○みそを使った料理 ○家庭の味や地域の伝統を受けついだ雑煮の例	45 45 46 48 48 48 48 49 51 51
	快適な衣服と住まい	○さき織り	59		
	身近な消費生活と環境				
6	家庭生活と家族				
	日常の食事と調理の基礎	○天王寺かぶら ○もてなしの心 ○家族の福をよぶ！おせち料理	97 100 101	○一汁三菜 ○日本の伝統食(おせち料理とは)	96 103
	快適な衣服と住まい	○ゆかた、じんべい、扇子、 ぞうり、麦わら帽子、うちわ ○あずまぶくろを作る	73 81	○伝統工芸士	87
	身近な消費生活と環境				

別記

様式4の調査項目④[自ら調べる資料]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家庭生活と家族				
	日常の食事と調理の基礎	○ガスコンロの使い方 ○調理実習の手順 ○包丁とまな板の使い方 ○計量スプーンの使い方	10 13 15 15	○ガスコンロの安全な使い方 ○調理の手順 ○計量のしかた ○包丁の持ち方・取りあつかい方 ○まな板の取りあつかい方 ○青菜のゆで方 ○青菜の洗い方	9 10 11 12 13 13 13
	快適な衣服と住まい	○針に糸を通す ○玉結びをする ○ぬう ○玉どめをする ○2つ穴ボタンを付ける ○整理・整とんの手順 ○そうじの手順 ○ミシンの使い方 ○製作の手順	20 20 20 20 22 47 49 55 59	○針に糸を通す ○玉結び ○玉どめ ○二つ穴ボタンのつけ方 ○整理・整とんの手順 ○衣服などのたたみ方としま い方 ○ミシンの安全な使い方 ○ミシンぬいにチャレンジ ○製作の進め方 ○布のたち方 ○しるしのつけ方 ○アイロンの安全な使い方 ○まち針のとめ方 ○ぬう	18 18 18 20 26 27 34 35 38 38 38 39 39 39
	身近な消費生活と環境	○買い方の手順	39	○買い物の手順	54
6	家庭生活と家族	○気持ちを伝える方法	111	○わたしの気持ちを伝えよう	106
	日常の食事と調理の基礎	○献立の立て方 ○いろいろな材料、どんな形に切る？ ○包丁とまな板、どう準備する？ どうかたづける？ ○包丁で材料を切る ○いろいろな野菜、どうやって洗おう？ ○計量スプーン、カップ、はかり、どれをどう使う？ ○家のコンロ、学校とちがう ○包丁で皮をむく ○食品のグループ分け(6つの食品群)	94 114 114 115 116 116 117 117 126	○(野菜を)洗う ○材料の切り方 ○1食分のこんだての考え方 ○栄養素のはたらきによる食品の分類 ○野菜の切り方皮のむき方	72 73 96 110
	快適な衣服と住まい	○衣服の着方と手入れ ○玉結びがむずかしい ○玉どめがむずかしい ○いろいろな形のボタンを付 けたいな ○針と布を持ってぬう ○衣服をたたむ ○アイロンをかける ○しるしを付ける ○布がずれてしまう ○布をたつ ○ミシンが思うように動かない ○私たちの住む地域の気候は ○ぞうきんをしぼる	77 118 118 118 119 120 120 120 120 121 122 125 125	○そうじの手順と実行 ○気持ちよく着るための衣服 の手入れと手順 ○玉結びのポイント ○玉どめのポイント ○ボタンつけのポイント ○ミシンぬいのポイント ○ぬいしろの折り方	76 82 112 112 112 112 112
	身近な消費生活と環境	○この表示、どんな意味？	124	○くらしの中のマークや表示	111

裏表紙